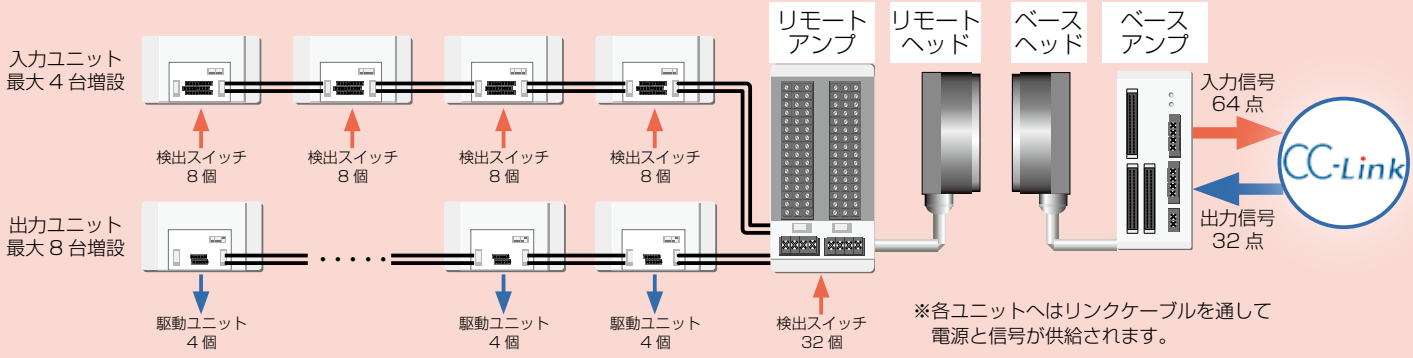
# リモートリンクシステム

## 24VDC/2A の非接触給電と同時に
## 検出 max.64 点＋制御 max.32 点を信号伝送

## CC-Link 接続可能なベースアンプ登場！！

■ 増設ユニットのリンク接続により、
入力ユニット：4 台×検出スイッチ 8 点
出力ユニット：8 台×駆動ユニット 4 点
まで接続可能

■ リモートリンクシステム接続例…リモート部（可動側）に検出スイッチ 64 個、駆動ユニット 32 個接続する場合




※各ユニットへはリンクケーブルを通して
電源と信号が供給されます。

# リモートリンクシステム
# システム図

## リモート部（可動側）

リモートヘッド・・・ベースヘッドと対向させることで、24V DC / 2A と入出力信号を非接触伝送します。

リモートアンプ・・・接続される検出スイッチや入出力ユニットに電源供給を行う。最大 32 個の検出スイッチを接続可能。

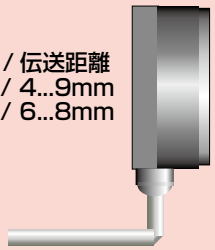
入力ユニット・・・・接続する検出スイッチに給電すると共に、その検出信号をリモートアンプに伝送する。最大 8 点まで検出スイッチ等を接続可能。1 システムに 4 台までリンク可能。

出力ユニット・・・・接続した電磁弁や小型モーター等の駆動ユニットを動作させる。最大 4 点まで駆動ユニット等を接続可能。1 システムに 8 台までリンク可能。

### リモートヘッド

RCH08T-211-PU-_ _

ドライブ電流 / 伝送距離
1A/ 4...9mm
2A/ 6...8mm

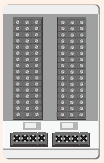


非接触
24V

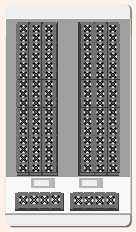
信号

### リモートアンプ

＜棒状端子タイプ＞
NPN：RL64T-344N-000
PNP：RL64T-344P-000

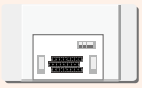


＜丸型端子タイプ＞
NPN：RL64T-345N-000
PNP：RL64T-345P-000



### 入力ユニット

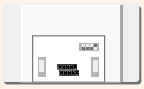
NPN：RLX08-322N
PNP：RLX08-322P



（4 台まで増設可能）

### 出力ユニット

NPN：RLY04-322N
PNP：RLY04-322P



（8 台まで増設可能）

### 検出スイッチ

リモートアンプへ直接
最大 32 個接続

| ■接続可能な検出スイッチ仕様 | |
|---|---|
| 定格電圧 | 24VDC |
| 負荷電流 | 7mA で動作可能なもの |
| ON 電圧 | ≦ 6V |
| 漏れ電流 | ≦ 1mA |

### 検出スイッチ

入力ユニット 1 台に 8 個
最大 32 個接続

| ■接続可能な検出スイッチ仕様 | |
|---|---|
| 定格電圧 | 24VDC |
| 負荷電流 | 7mA で動作可能なもの |
| ON 電圧 | ≦ 6V |
| 漏れ電流 | ≦ 1mA |

### 駆動ユニット

出力ユニット 1 台に 4 個
最大 32 個接続

| ■接続可能な駆動ユニット仕様 | |
|---|---|
| 出力論理 | NPN または PNP |
| 出力方式 | オープンコレクタ出力 |
| 負荷電流 | 最大 200mA/ch |
| 残留電圧 | ≦ 2.5V |
| 漏れ電流 | ≦ 0.08mA |

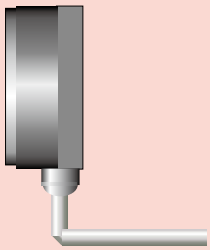
触給電
/2A

伝送

## ベース部（固定側）

### ベースヘッド

RCH08E-211-PU-_ _



ベースヘッド・・・ リモートヘッドと対向させることで、24V DC / 2A と入出力信号を非接触伝送します。

ベースアンプ・・・ リモート部からの最大 64 点の検出信号を PLC 等へ伝送、また PLC 等からの出力信号を最大 32 点リモート部へ伝送します。
ベースアンプは用途に応じて下記からお選び頂けます。

**■パラレル接続 (RL64E-333N-000 / RL64E-333P-000)**
入力信号 64 点＋出力信号 32 点の ON/OFF を伝送します。

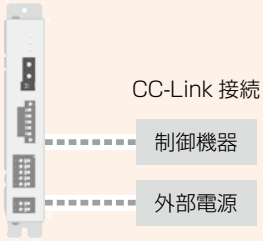
**■ DeviceNet 接続 (RL64EA-355DN-000)**
入力信号 64 点＋出力信号 32 点を DeviceNet へ伝送します。

NEW！！ **■ CC-Link 接続 (RL64E-366CL-000)**
入力信号 64 点＋出力信号 32 点を CC-Link へ伝送します。

### ベースアンプ

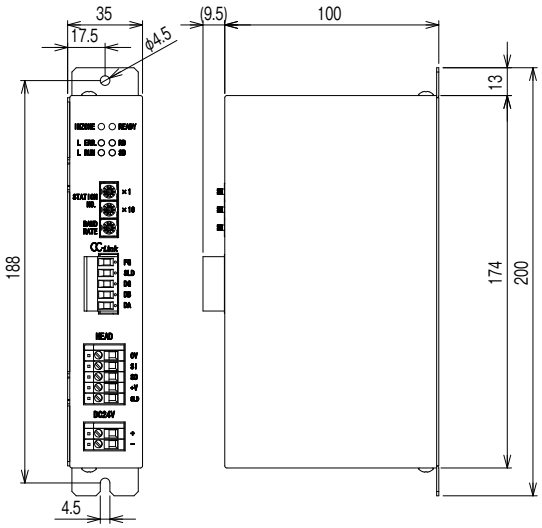
＜ CC-Link 接続＞
**RL64E-366CL-000**

CC-Link




■ CC-Link 接続
入出力信号を CC-Link へ伝送します。
CC-Link 上の各機器へ入力信号を伝送したり、制御命令をリモート部へ伝送する事で可動部の機器制御を行う事が可能となります。

＜外径寸法図及び仕様＞




| 型式 | | RL64E-366CL-000 |
|---|---|---|
| 対応ベースヘッド部 | | RCH08E-211-PU-_ _ |
| ケース材質 | | SPCC-SD |
| 接続 | 電源 / ヘッド | 端子台 |
| | CC-Link | Open コネクタ：5 極 x 1 |
| 通信仕様 | 通信プロトコル | CC-Link (Ver. 1.10) |
| | 局種 | リモートデバイス局 |
| | 占有局数 | 3 局（リモート入出力 RX/RY 各 96 点、リモートレジスタ RWr/RWw 各 12 ワード） |
| | 局番 | 1 ... 62（ロータリースイッチにより設定） |
| | 通信速度 | 156k/625k/2.5M/5M/10M Baud（ロータリースイッチにより設定） |
| | 入力点数 | 64 点 (RXn0 ... RX(n+3)F)<br>インゾーン信号 1 点（RX(n+4)0）*1 |
| | 出力点数 | 32 点（RYn0 ... RX(n+1)F）*1 |
| 使用電圧 | | 24V DC ± 5%（リップル 1V 以下） |
| 消費電流 | | ≦ 150mA |
| 使用温度範囲 | | 0...+50℃ |
| 使用湿度範囲 | | 35...90%（但し氷結しない事） |
| 保存周囲温度 | | -15...+70℃ |
| 保存周囲湿度 | | 35...90%（但し氷結しない事） |
| 耐振動 | | 耐久 10...55Hz/ 複振幅 1mm/X・Y・Z 各方向に 2 時間 |
| 耐衝撃 | | 20G、XYZ に各 3 回、合計 18 回 |

*1　n：局番設定により、マスタ局に割り付けられたアドレスです。

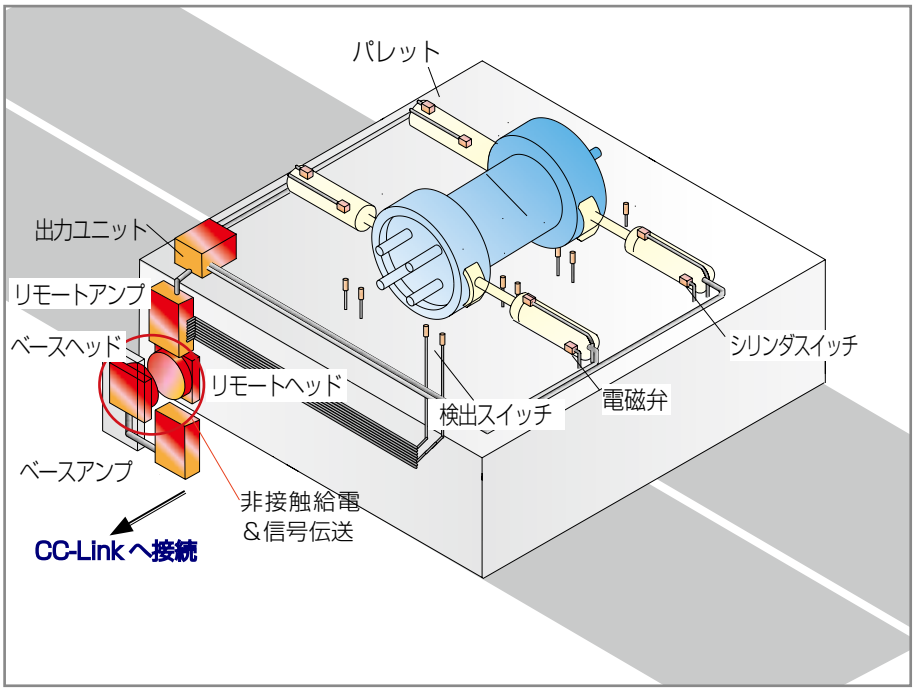
一括パラレル接続

DeviceNet 接続

CC-Link 接続

# 大型パレットにおけるアプリケーション例

ワーク識別・電磁弁起動・クランプ確認



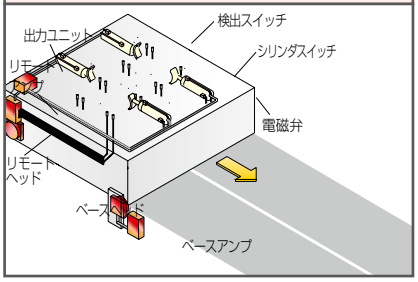

## 作業の流れ

形状の異なるワークが混在する組み立て工程で、現物を自動識別してパレットに固定し作業を行う。

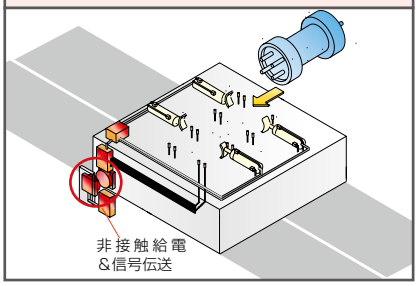
## 改善ポイント

○多数のセンサや電磁弁をパレット上に設置でき、ワーク投入から組み立て作業まで自動化できた。

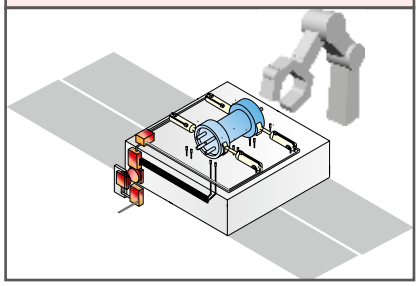
①ワーク現物合わせの治具




②ワーク投入形状識別




③ワーク着座確認→組立開始



## 各工程での動作

パレット上でワーク形状を識別し、組み立てラインに流す。

①パレットには、ワーク形状による座点の違いを識別するための近接スイッチ、クランプのための電磁弁と確認用シリンダスイッチが配置されている。電磁弁は出力ユニットを介して、スイッチ類は直接リモートアンプに接続している。

②投入ステーションでベースヘッドとリモートヘッドが対向するとパレット上の各機器に電源が供給され、同時に各信号が伝送される。

③ワーク着座が確認されると、組立工程に送られる。

■ 仕様などの記載内容は、予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。


株式会社 ビー・アンド・プラス

本社工場　埼玉県比企郡ときがわ町五明 274　〒 355-0343

東京営業所　：TEL 03-5719-4155　FAX 03-6417-0115
名古屋営業所　：TEL 052-581-5889　FAX 052-581-5517
大阪営業所　：TEL 06-6304-2680　FAX 06-6304-2256

日本バルーフ株式会社より 2008 年 4 月社名変更いたしました。

製品に関する技術的なお問合せは、下記にご連絡下さい。

技術サービス：TEL 0493-65-1688　FAX 0493-65-3171
受付時間：月～金（祝祭日を除く）
9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
E-mail ： b-plus@b-plus-kk.jp



BN1001Aj　2011.12